

全校朝会 校長の話から

タイトル

今日一日の「出来事」

僕は、「校長室」に呼ばれた。

どうも、

朝の会で書いた
作文のことらしい。

「昨日、
食べた給食の味を再現する」と
いうテーマで、

「色」と「音」を
意識して、

作文をつくってみただ。

どんな作文かって？

「僕は、昨日、

給食のトンカツを食べて、

口の中で、

肉の汁と油が出て
ベストマッチだった。

牛乳を
口に入れたら、

牛が、

この牛乳を
くれたんだなと思い、

そしたら、

牛が

『もオ～』と、
声を出したんです。

真っ白だったのので、
すごいと思いました。」

校長先生は、

「すごく、いいね！」と

ほめてくれました。

とつても、
うれしかった。

本当に、

牛が、

声を出したんです。

校長先生は、

「牛は、その時、何頭だったかな。」と

真剣に
聞いてきたので、

「6頭」と

答えました。

僕がつくった
五七五の句は、

「トンカツは
口に入れたら 音が鳴る」です。

夕方、
戸塚行のバスで、

驚いたことに、

またまた、

校長先生と一緒にだった。

それも、

一番後ろの座席で
隣同士。

これって、
「運命」って、言うやつかな。

僕は、

将来、

テニス選手になりたいと
言ったら、

校長先生は、

「君なら、きつとなれるよ。」と
言ってくれた。

とっても、

うれしかった。

僕は、思った。

夢は、
口に出したら、

きっと
なれるような気がしてきたんだ。

「夢は、口に出したら、実現する！」

僕は、きっと、

今日一日の、

この「出来事」を、

いつまでも

忘れないだろうな。

さあ！

今日も、

元気を出して、がんばろう！

校長の話 今日一日の「出来事」

このお話が
マンガになりました

ぼく
僕は
こうなってる
校長先生に
おはなした
た。

校長先生



どいつも、朝の会場で書いた
作文のこしらしい。



昨日、食べた食べ物の味を再現する
というテーマで、「色」と「音」を意識して
作文をつくってみたんだ。

どんな^{とく} 作文^{がぶん} かって？

僕は、昨日、給食のトンカツを食べた。



くちなか
口のなかで、肉の汁と油が出て
ハストマツチになった。

牛^{ウシ}の^{しゅうにゅう}乳^{にゅう}を^{くち}口^いに^い入^られたら、



牛^{ウシ}が、この^{しゅうにゅう}牛^{にゅう}乳^{にゅう}を

く^{おも}れた^いんだなと^い思^いべ^いい、

「ぞしたら、牛が

もっ〜

もっ〜

もっ〜

もっ〜

もっ〜

もっ〜



と、
こえが
声を出してくれたいです。
まっ白だったのこ
すこ〜と思いましたが

ニッパ
校 長先生は、

牛は、
その日、
何頭、
たっ たかな



と直剣に聞い
しんけん
てきたので、

と
こた
た
答
え
ま
し
た。
。

6
頭
と
う

も
ち
〜
×
6



僕ぼくのつくった五ご七しち五ごの句くは

トンカツは

口くちに入いれたら

音おとが鳴なる

びす。



ゆ
う
が
た
、
夕
方

7⁰⁰ □ □ ...



とっがいに
戸塚行のバスで、敬慕したこと、
またまた、校長先生と一緒にだった。



それにも、一番後ろの座席を隣どうし。
これって、「運命」って、言うやつかいな。

僕は将来、テニス選手に
なりたいと言ったたら、
校長先生は、

君なら、
きっと
なれるよ

と言ってくれた。
とってもうれしかった。

僕は^{ぼく}は^{おも}思った^{った}。



あの^{あの}ころ^{ころ}に^にだ^だした^{した}ら、
僕^{ぼく}は^はロ^ろに^に出^でした^{した}ら、

きこ^{きこ}とな^なめ^める^るよ^よう^うな^な気^きが^がし^{して}て^てき^きこ^こた^たん^んだ^だ

^{ゆめ}夢 は、^{くち}□ に ^た出したら ^{いっしょ}実現する。



さあ！



きょう
今日も

けんきょ
元気を出して

がんばろう！

校長の話 今日一日の「出来事」

おしまい